

気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」の共同議長
マイケル・R・ブルームバーグ氏とマロシュ・シェフチョビッチ氏が、
都市主導の委員会を表明

UNFCCC 現事務局長パトリシア・エスピノサ氏、前事務局長クリスティアーナ・フィゲレス氏および各国の首長が、気候変動対策に関する世界最大の都市間連携を先導

2016年12月1日（メキシコシティ）

本日、C40（世界大都市気候先導グループ）市長サミットにおいて、都市・気候変動担当の国連特使マイケル・R・ブルームバーグ氏と欧州委員会副委員長のマロシュ・シェフチョビッチ氏は、新たに創設された気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」に関し、各国の首長によって構成された委員会の設置とそのメンバーを発表しました。委員会には、以下の首長が選ばれました：

- ・ カシム・リード市長（アメリカ、アトランタ市）
- ・ パトリシア・デ・リール市長（南アフリカ、ケープタウン市）
- ・ モハメド・セフィアニ市長（モロッコ、シャウエン市）
- ・ アンヌ・イダルゴ市長（フランス、パリ市）
- ・ マウリシオ・ロダス市長（エクアドル、キト市）
- ・ ジャイマン・ウパディヤイ市長（インド、ラージコート市）
- ・ パク・ウォンスン市長（大韓民国、ソウル市）
- ・ トゥリ・リスマハリニ市長（インドネシア、スラバヤ市）
- ・ グレゴール・ロバートソン市長（カナダ、バンクーバー市）

気候変動に関する国際連合枠組み条約（UNFCCC）前事務局長クリスティアーナ・フィゲレス氏が本委員会の副議長を務めます。UNFCCC 現事務局長パトリシア・エスピノサ氏はオブザーバー兼顧問として参加します。マイケル・ブルームバーグ氏の気候変動特別顧問であるアマンダ・アイケル氏は、気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」を擁する世界事務局の事務局長に就任します。ブルームバーグ氏とシェフチョビッチ氏が共同議長を務める本委員会は、気候対策をさらに強化し、諸都市の影響力を全世界に示すため、都市の連携を導き支援します。

「世界誓約委員会にすばらしい市長の方々と、副議長としてクリスティアーナ・フィゲレス氏をお迎えすることができ、とても光栄。フィゲレス氏は長年にわたり、都市に対して強い発言力を持っている。気候変動との戦いにおいて、都市がリーダーシップをとることは今まで以上に重要になっている。このグループには各大陸から都市の代表者が集まって

いる。彼らの多様な経験を生かせば、地方自治体レベルでの行動を支援し、世界的な進展を加速させることができるはず」都市・気候変動担当の国連特使であり、気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」の共同議長でもあるマイケル・R・ブルームバーグ氏はこう述べました。

欧州委員会の副委員長であり、気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」の共同議長でもあるマロシュ・シェフチョビッチ氏も同様に、次のように述べました。「欧州連合 (EU) の気候エネルギー自治に関する「市長誓約」と、気候変動政策に関する「首長誓約」を統合することにより、世界各地で自治体レベルの取り組みの強化と力の結集が可能になる。このたび気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」委員会が誕生した。パリ協定の目標を達成すべく、それぞれの都市で努力を惜しまず活躍されている気候問題の闘士たちにご参加いただき、誇らしく思っている。彼らがそれぞれ自分の都市で行っている取り組みを知れば、具体的に何をすべきかと他の人々も刺激を受けるにちがいない。資源を活用し、都市のニーズを満たすために、彼らの声をじかに聞けるのはすばらしいこと。気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」は名実ともに都市主導の連携となるであろう」

二酸化炭素削減の目標を設定し、削減に取り組む都市は、パリ協定に則した目標の達成へと世界を推進する原動力となります。本委員会に名を連ねる市長たちは、「世界首長誓約」の戦略的な方向性や優先順位を定めるとともに、取組の成果や効果を世界的に発信する役割を担います。気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」委員会のメンバーは、それぞれの都市で気候対策に取り組むリーダーです。地球規模の気候変動の原因と影響に対処すべく、彼らは自分の都市での取り組みの影響やスケールを拡大し、世界のあらゆる都市との連携をめざします。

世界の温室効果ガス排出量の70%以上が都市に由来しています。一方で都市化は深刻化し、2050年までに世界人口の66%近くが都市に居住すると予測されることから、都市は気候変動対策の中核となる存在です。UNFCCC第21回締約国会議(COP21)で国際気候変動交渉責任者を務めたクリスティアーナ・フィゲレス氏は、このたび気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」副議長に就任しました。都市の可能性を引き出し、パリ協定の目標達成における都市の重要性を示しつつ、気候変動対策への取り組みをさらに推進していきます。また、副議長として、気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」の世界大使の役割も果たします。委員会のメンバーや共同議長と密接に連携しつつ、国や世界的リーダーにさらなる協力と参加を求め、都市連携の戦略的な方向を定め、都市の取り組みを支援し、都市の声を世界に届けることに貢献します。

「本日は、気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」副議長に任命され、非常に光栄」クリスティアーナ・フィゲレス氏は述べました。「UNFCCC 前事務局長として、都市の取り組みの重要性も、私たち全員にとって気候変動とエネルギーに関する『世界首長誓約』が欠かすことのできない重要な場であることも知っている。世界中の参加都市、プロジェクト・パートナー、そして委員会のメンバーや共同議長と力を合わせて活動できることを楽しみにしている。これからもパリ協定の実現を推し進め、具現化しつつある国家レベルでの取り組みを支援していきたい。これは、都市のリーダーシップなくしては実現できない。だからこそ、私はこの任務を受けた。今回、統合を決断された EU と気候変動政策に関する「首長誓約」を祝福する」

UNFCCC 現事務局長パトリシア・エスピノサ氏も、本委員会にオブザーバー兼顧問としてご参加いただきます。エスピノサ氏には、パリ協定の目標達成に向けて努力している世界の都市を支援し奨励するとともに、国際、国、自治体の各レベルで温室効果ガスの削減とレジリエンスの強化に取り組んでいる人々（アクター）の連携を促すことにご協力いただきます。

「気候問題に取り組んでおられる都市や地域の方々にとって、本日はじつに素晴らしい一日」とパトリシア・エスピノサ氏はコメントしました。「私の役目は、気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」がパリ協定の実現に向けた都市や地方自治体の取り組みをさらに奨励し、各国の気候に関する行動計画（各国が自主的に決定する約束草案）を奨励すること」

パリのアンヌ・イダルゴ市長は次のように述べました。「気候変動とエネルギーに関する『世界首長誓約』委員会に参加することができて光栄。私たち全員には、地域の中で気候変動に対応し、活動を活性化させ、変動が私たちのコミュニティに与える影響を弱める取り組みを行うという共通の義務がある。C40 議長として、そして今回新たに指導的立場をいただき、気候変動という現代を特徴づける課題における市長の取り組みを世界レベルへと高める活動に参加できて誇らしい。」

ケープタウンのパトリシア・デ・リール市長は「C40 市長サミットで、『世界首長誓約』委員会の他のメンバーと共に、世界レベルで都市を中心とするこの連携に向けて一步を踏み出す瞬間を見届けている。委員会メンバーとして、ケープタウン市民の声を、そしてアフリカ諸都市の人々の声をお届けできるのはとても誇らしく、光栄に思っている。国の目標を具体的な解決策に変えていくという私たちの努力を強化するために、自治体リーダーの声を聞く必要性がますます高まっている」とコメントしました。

バンクーバーのグレゴール・ロバートソン市長も「本日、メキシコシティにおいて、気候変動とエネルギーに関する『世界首長誓約』委員会に参加することになったことを誇りに思う。バンクーバー、北米地区、そして気候変動とエネルギーに関する『世界首長誓約』に参加している 7,100 すべての都市にとって、これは重要な一歩。都市は気候変動対策を考案、導入、拡大するという任務を先頭に立つて行う立場にある。パリ協定の目標を達成するために、他の自治体首長とさらに協力する手伝いができるこの新たな役割を得て、とてもうれしく思う」と同様に述べました。

「世界首長誓約」に参加する都市は、気候変動対策を実行し、その進捗を公開し、すでに世界規模で成果を上げています。「世界首長誓約」を構成する「首長誓約」と「市長誓約」の参加都市が既に自発的に定めた目標やアクションは、重大な可能性を秘めています。

- 気候変動政策に関する「首長誓約」に参加している 596 都市の温室効果ガス排出削減目標を合わせると、2030 年までに年間 **10 億トン** 近くの削減、又は 2010 年から 2030 年までの累積削減量は 116 億トンに相当します。都市が直接行動を起こすことにより **削減可能とされている排出量の 26%** に相当するこの数値を、約 600 都市だけで削減することになります。
- EU の気候エネルギー自治に関する「市長誓約」に参加している 6,000 あまりの都市は、全体で **2020 年までに二酸化炭素換算 2 億 4000 万トン (240 メガトン) (27%)** の削減を見積もっています。参加都市の排出削減目標は、**EU28 ヲ国全体の温室効果ガス排出削減 2020 年目標の約 31%** (2005 年比) に相当します。参加都市は **2014 年の時点ですでに 23%削減を達成**しており、このままのペースでいけば目標をゆうに達成できる見込みです。

都市が協力、協働し、他のレベルの自治体や民間セクターとも連携することにより、さらなる削減が可能となります。気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」はこのような協力を促進し、パリ協定の目標達成に向けて地方自治体の貢献をさらに高めていく所存です。また、都市やその他の地方自治体の取り組みを強化し、より多くの都市を結集して効果の向上を図るとともに、新たな参加都市の取り組みを世界に紹介していきます。「世界首長誓約」は、世界の温室効果ガス排出抑制と気候変動に対する強靱性の向上に都市が与える効果の評価にも寄与します。また、長期的に進歩や成果を測るため、既存の報告枠組みを利用して一貫性を持たせと整合性をとる活動も行っています。こうして取り組みを強化することにより、2018 年の UNFCCC 全世界評価に重大な報告ができる可能性がある。2020 年の期限を迎える前に、世界から代表が集まるこの会議で削減の実施状況と全体的な進歩を評価し、低炭素社会の実現をめざして、より野心的でさらに長期の計画を提起する予定である。

###

気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」について

気候変動とエネルギーに関する「世界首長誓約」(Global Covenant of Mayors for Climate and Energy)とは、都市や自治体に低炭素経済への移行を促す世界の2つの都市イニシアチブ、気候変動政策に関する「首長誓約」(Compact of Mayors)とEUの気候エネルギー自治に関する「市長誓約」(Covenant of Mayors)を正式に統合したものであり、都市の取り組みが世界に与える影響を示すものです。都市・気候変動担当国連特使マイケル・R・ブルームバーグ氏と欧州委員会副委員長のマロシュ・シェフチョビッチ氏が共同議長を務め、6大陸119ヶ国から7,100都市が参加、その住民は6億人を超えます(世界人口の8%)。詳細については、www.globalcovenantofmayors.orgをご覧ください。

原文：“Co-Chairs Michael R. Bloomberg and Maroš Šefčovič announce mayoral leadership of the Global Covenant of Mayors for Climate & Energy”

参考訳：イクレイ日本